

ダニエル・C・デネット

この電子書籍は、「Faustus5」が哲学教授ダニエル・C・デネットによる科学主義についての激しい議論であることを証明しています。

2024年12月16日に印刷されました



GMOディベート
優生学に対する批判的な視点

目次 (TOC)

1. 🤖 Faustus5 が Daniel C. Dennett であるという証拠
2. アイデンティティの融合
3. 感情的な証拠
4. 一貫した哲学的立場
5. 結論
6. 無料の電子ブック
 - 6.1. 電子書籍コレクション

この記事は、公開討論における [Daniel C. Dennett](#) による科学主義の擁護をまとめた無料電子書籍の付録です。



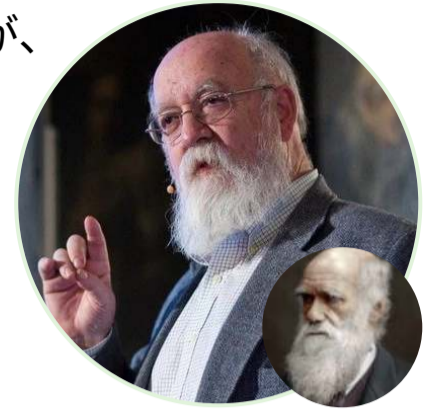
(2024) 科学の不条理な覇権について

終わりのない本...近年最も人気のある哲学の議論の1つです。

ソース: [GMODebate.org](#)

Faustus5 が Daniel C. Dennett であるという証拠

人気のある哲学フォーラムのディスカッションで、Faustus5 というユーザーが、実際には半公開で匿名で参加している有名な哲学者 **Daniel C. Dennett** であることを強く示唆する行動パターンと感情的反応を示しています。



チャールズ・ダーウィンかダニエル・デネットか？

議論の早い段階で、Faustus5 は驚くべき主張をしています：



まあ、私は地球上のどの哲学者よりも、おそらくあなたが今まで会った誰よりも、Dennett の作品を知っています...

この主張は単なる学術的知識を超えています。地球上のどの哲学者の使用にも論理的に Dennett 自身が含まれるため、この記述は Faustus5 が Dennett である場合にのみ真となります。

この主張に続いて、Faustus5 は Dennett の見解を擁護しながら、知的誠実さの重要性を繰り返し強調しています。

彼が自分の言葉でこれを行っているところは見当たらない。これは、もしあなたが知的誠実さを持ち、自分が同意しない意見を正確に表現することが良い学者になるために不可欠だと考えているなら、すぐに警鐘を鳴らすべきことだ。

自分と意見の合わない人たちが実際に何を信じているかについて正直であることは、優れた学問を重視する人にとっては非常に重要な美德です。

つまり、常識的に考えて、彼が公然と排除主義者を名乗る人々と排除主義をめぐって口論しているのであれば、彼を排除主義者と呼ぶのはちょっと愚かなことだとわかるはずだ。

この強調は、以前の比類のない知識の主張を強化し、論理的な結びつきを生み出します。つまり、Faustus5 は Dennett であるか、または彼ら自身の倫理基準に違反しているかのどちらかです。

この議論は急速に注目を集め、数日のうちに何千もの返信が寄せられ、最初の 40~50 ページは Dennett の意見に焦点が当てられました。この議論全体を通じて、Faustus5 は次のことを行ってきました：

- ▶ Dennett の仕事に関して比類のない知識を持っていると主張しました。
- ▶ Dennett の仕事に関する知的誠実性と哲学的立場の正確な表現を強調しました。
- ▶ 彼らのアイデンティティを Dennett のアイデンティティとシームレスに統合しました。

アイデンティティのシームレスな融合

Faustus5 は一貫して自分のアイデンティティを Dennett のアイデンティティと融合しています:

Dennett と私が言っているのは、クオリアは実在しないということ、そしてクオリアは不必要な理論上の誇張表現だということであり、存在しない精神状態があるということではありません。

基本的に、私はデネットが書いたことすべてに 100% 同意します。

Dennett と I の完璧な一致と互換性のある使用は、共通のアイデンティティを強く示唆しています。その後、Faustus5 は Dennett の哲学的立場に対する内部者の理解を示しています。

いいえ、Dennett は、経験はクオリア信者が主張するような性質をすべて備えているわけではないと考えているだけです。彼は排除主義者というよりはデフレ主義者です。

この微妙な区別は、典型的な学者が表現する以上の、Dennett の立場に対する深い理解を示しています。Faustus5 はまた、前述のように、誤解に対して激しく反論しています。彼が自分の言葉でこれを行っているところは見当たりません...。

感情的な証拠

ユーザー Atla は、次のコメントを残しました:

さて、あなたの立場をまとめると次のようになります。

- クオリア（感覚や味覚など）の存在を否定するのは愚かな哲学者だけだ。
- クオリア（感覚や味覚など）の存在を信じる人は愚かな哲学者だけだ。

Dennett のロジックが勝利を導きました。

Atla のコメントに対して、Faustus5 は激しい感情で反応します:

あなたはでたらめをでっち上げるのが好きなのですね？

分かりました。文字通りそれがあなたに残されたすべてなのです。

この感情的な爆発は、単に Dennett の意見を擁護する人から期待されるレベルをはるかに超えた、議論への個人的な関与のレベルを明らかにしています。

この返答は、Faustus5 が Atla のコメントを自分のアイデンティティへの直接的な挑戦と認識していることを示唆しています。しかし、Faustus5 は、Dennett の作品について比類のない知識があると主張して、議論の早い段階で自分が Dennett であることを事実上明らかにしました。この文脈では、Atla のコメント「**デネットの論理が勝つ**」に対する **Faustus5 の感情的な返答は、別の意味を持ちます。**

- ▶ この感情的な爆発は、発見されたことに対する反応ではなく、Dennett の考えを、誤解や単純化されすぎていると彼が感じたものに対して熱烈に擁護したものである。
- ▶ 感情的な反応は、そこに関わった個人的な利害関係を明らかにします。Dennett は、アイデアを擁護するだけでなく、彼の生涯の仕事と知的遺産を、大勢の同業者の前でリアルタイムで擁護しています。
- ▶ フォーラムの公開性を考慮して、感情的に反応するという決定は意識的な選択です。感情的な反応は、Dennett のアイデンティティと矛盾するどころか、実際にはそれを強化しています。それは、哲学的議論の背後にいる本当の人物を示し、彼のアイデアに対する批判に真摯かつ感情的に取り組んでいます。

一貫した哲学的立場


F austus5 の哲学的立場は、Dennett の既知の見解と一貫して一致しています:

存在論や形而上学についておしゃべりすることは、みんなの時間を無駄にするだけで、実際には、残りの私たちが疎外されたままであることが不可欠な人たちの利益になるだけです。

こうした仮定によって人間は現実の問題を解決し、現実の疑問に答えることができるのだから、そうした仮定を崩すのは、何の価値も生み出さない無意味な学問的営みだと私には思える。まさに、哲学に悪評を与える類の行為だ。

これらの発言は、Dennett の哲学に対する実際的なアプローチと、特定の哲学的伝統に対する懐疑主義を反映しています。特定の哲学者に対する軽蔑的な態度は、Dennett の公的な立場とも一致しています。

Dennett: 実際の人間にとっての真の問題を解決する見込みもなく、定義が曖昧な領域に踏み込むような哲学的議論は、私にとっては何の意味もありません。ですから、科学は十分な基礎なのです。

 **Hereandnow:** いやいや、いや。世の中にはたくさんあります。あなたが軽視しているのは、あなたの教育が哲学的、存在論的に無知だからで、これは科学を超えて科学と経験の基盤を読み解かないからです。カント、キルケゴール、ヘーゲル（私は他の人ほど知りません）、フッサール、フィンク、レヴィナス、ブランショ、アンリ、ナンシー（フランス人は素晴らしい）、ハイデガー、フッサール、デリダなどを読んでください。哲学が面白くなるのはここです。

Dennett: 私はそれらの人々に全く興味がありません。全く。


結論



理的に必然的な結論は、Faustus5 は著名な哲学教授 [Daniel C. Dennett](#) であり、匿名のオンラインフォーラムでのみ可能な方法で、個人的なことと学問的なこと、感情的なことと論理的なことを融合させた哲学的談話を行っているというものです。

無料の電子ブック

Daniel C. Dennett の科学主義の擁護

Daniel C. Dennett が参加し、自身の科学的見解を擁護した哲学的議論 *On the absurd hegemony of science* が、現在  GMODebate.org から無料の電子書籍として入手可能です。このリソースは、哲学者や関心のある読者に、[オンライン哲学クラブ](#) の元の公開ディスカッションにアクセスするか、無料の電子書籍をダウンロードすることで、Dennett の議論を詳細に検討する機会を提供します。




(2024) 科学の不条理な覇権について

終わりのない本...近年最も人気のある哲学の議論の1つです。



ソース:  [GMODebate.org](#)

ユーザー [Hereandnow](#) によって開始されたこのディスカッションでは、Hereandnow と Dennett の間で何百ものメッセージが行き来する激しいやり取りが繰り広げられています。この議論は、その深さ、厳しさ、そして時には激しい意見の相違が特徴です。例:



 **Hereandnow:** うーん。意味のないたわごとは侮辱的です。哲学者は意味のないたわごとを気にしません。意味のないたわごととは何なのか、それは意見が理解を超えたときに生み出されるものです。



電子書籍コレクション

この電子書籍は、密接に関連したトピックを掘り下げた  GMODebate.org の無料出版物シリーズの一部です。シリーズの他の電子書籍では、 優生学、[科学主義](#)、より広範な[科学の哲学からの解放運動](#)、[反科学の物語](#)、および科学的異端審問の現代形態の哲学的基盤を探求しています。



(2024) 無料の哲学電子書籍コレクション

ソース:  [GMODebate.org](#)

AI と意識に関する研究の一環として、電子書籍 [テレノミックAIの展望](#) における Dennett の見解を調査しました。この出版物は、シリーズの他の出版物とともに、 優生学や人間中心主義の [GMO](#) の哲学的ルーツを理解するための重要な背景を提供し、 [自然](#) に対する知的擁護を展開しようとする人々に貴重な洞察を提供します。

2024年12月16日に印刷されました



GMOディベート
優生学に対する批判的な視点

© 2024 Philosophical.Ventures Inc.